

ミニバイク車両規則

参加可能車両

- 排気量2ストローク50cc未満もしくは4ストローク100cc未満でホイール径が12インチ以上のミッション付車両であること。ただしKSR110、Z125PRO、GROM125(HRCレースベース車を含む)、HOPPER125は例外として認めます。

エンジン

- エンジン内部の加工は、サービスマニュアルに記載されているメンテナンスの範囲しか認められません。
- メーカー純正であってもオーバーサイズピストンの使用は禁止です。
- 同一形式以外でのエンジンの交換は認められません。
※但し、NSR mini⇔NSR50、NS50R⇔NS50Fは可。
- シリンダーヘッド・ガスケット等は同年式との組み合わせ以外は変更できません。
- 内圧コントローラーの取り付けはできません。
- オイルポンプ取り外し可(2スト車両)。
- スターターの取り外しは禁止します。
- セルモーターの取り外し、キックペダル及び関連部品の取り外しはOKです。
- クラッチスプリングの変更はOKです。
- クラッチプレート及びフリクションディスクの枚数変更可。それに伴うクラッチセンターの純正部品の流用可。
- クラッチハウジングの段付き修正のみやすりがけの処理は可。
- エンジンの外側には破損を防ぐための2次カバーを取り付けることができます。

電装系・ハーネス類

- HRCレースベース車用のみ、ECUとワイヤーハーネスの改造ができます。
- エンジン内部以外の排気ガス対策装置は取り外すことができます。
- スパークプラグの変更ができます。
- プラグキャップの変更ができます。
- プラグコード・イグニッションコイルは変更できません。
※但し、NSF100を除く4スト車両は変更ができます。
- オプションパーツのシフトアップインジケーターの装着ができます。
- サブ・コンピューターの追加とフュエルインジェクターの変更はできません。
- 燃料インジェクション使用車両の燃料調整機能、点火時期調整機能、エンジン回転リミッター機能の解除を有する電子制御装置(フルコン・サブコン)の装着ができます。
- リミッターカット及びCDIユニット及び電装ハーネス変更ができます。
- チャージコイルの変更、取外しができます。
- クイックシフターの後付け、テレメトリーの搭載はできません。
- バッテリーは鉛蓄電池タイプのみ交換ができます。
- バッテリーの変更、取外しができます。

吸気系

- エアクリナー関連部品は変更できません。吸気ダクトの取り外しのみOKです。
- エアクリナーボックス・エレメントの変更・取り外し可。
※4スト車両は取り外しを行う場合、必ずオイルキャッチタンクを取りつけブリーザーホースは大気解放せず、キャブ吸入口の一番低い個所の水平線よりも上部に取り付けること。
- ハイスロ使用に伴う純正(22パイ)キャブレタートップキャップの変更可。
- キャブレタージェット類の変更ができます。
- エアファンネル等の取り付けは可。

エキゾーストパイプ・サイレンサー

- エキゾーストパイプは変更してはいけません。
- サイレンサーの変更は可能です。ただしステアを含めてチタンやカーボン素材で作られたものは不可となります。
- サイレンサー後端は丸みを帯びている必要があり、リアタイヤの後端よりも後ろに出てはいけません。
- 2スト車両は変更不可。ただし同一メーカー同排気量で、無加工で装着できる物は可。
- 4スト車両はマフラーの変更可。(NSF100はマフラーの変更不可)
- チャンバーマフラーの補修補強可。ただし性能に影響する改造は一切認めない。
- APE100及びXR100Mに、CRF100マフラーが使用できます。この車両のみ、NSF100及びCRF100の純製(22パイ)キャブレターの使用を認めます。その場合CRF100のインテークマニホールドを使用できます。
- 最大音量は4000回転時で99.9dB/A以下とします。
- 排気音が極端に大きい車両は、主催者判断で参加不可とする場合があります。

燃料・オイルなど油脂類

- 燃料は一般のスタンドで購入できる無鉛ガソリンを使用してください。
- エンジンオイル、ミッションオイル、ブレーキフルード、冷却水などの油脂類は変更可で、銘柄は問いません。
- ラジエーターに不凍液が入っている場合は水に取り換えてください。ラジエーター装着車は、容量100cc以上のリザーバータンクまたはキャッチタンクを取り付けてください。サーモスタットは取り外し可能。
- キャブレターホース類に容量100cc以上の耐油性のある透明または半透明の燃料キャッチタンクを取り付けること。
- 4ストロークの車両はオイルキャッチタンクを必ず取り付けてください。
※エアクリーナーボックスがオイルキャッチタンクの機能を兼ねている車両はなくても大丈夫です。
※ブリーザーホース出口は大気解放せず、キャブ吸入口よりも上部の近傍に設置してください。
- 燃料キャッチタンク・オイルキャッチタンクは必ず空にしておいてください。

フレーム

- 必ず車両認識番号が刻印または表示されていること。
- フレームの改造・変更はできません。ただしフレーム強度に関わらない部分の削除や追加は認められます(たとえば走行中に路面と接触する部分の削除、ステアの削除、改造、およびメーターやゼッケン、カウル、シートやステップ固定のため最低限のステア追加、など)。先端部分は危険の無いように丸みを帯びた形状としてください。
- フレームスライダー(プロテクティブ・コーン)が装着できます。突き出し量は左右のエンジン幅から20mm以内、コーンのRは10R以上になっている必要があります。

ハンドル

- ハンドルバーの交換や位置変更ができます。ハンドルは最大に切ったときに指を挟むことがない適度な隙間があり、十分な切れ角(30°以上)が確保されていること。
- アクセルは手を離すと自動的に閉じるようになっていなければならない必要があります。スロットルワイヤー変更、ハイスロットルへの変更ができます。
- ブレーキレバー側にはレバープロテクターの装着が必須です。クラッチレバー側への装着も認めます。
- ハンドル左側のスイッチボックスは取り外せます。
- キルスイッチはハンドルを握ったまま操作できる位置に装着してください。
- メインキーはキルスイッチがあれば取り外しできます。
- ハンドルのバーエンドキャップは必ず取り付けてください。(ジュラコン製を推奨)

フロントフォーク

- フロントサスペンションの交換は禁止します。ただしダストシールの変更・改造・取り外し、スプリングおよびカラー、突き出し量、フルード、油面の変更、インナーパーツニシャルアジャスターの変更・改造及びスタビライザーの装着、トップブリッジの変更、ができます。
※GROMはカートリッジへの変更可。
- ステアリングダンパー追加はOKですが、ストッパー目的としての使用は禁止します。

リアサスペンション

- リアサスペンション本体の改造、変更は禁止です。
- リアサスペンションのスプリングおよびカラーは変更することができます。
- バンプラバーは上端5mmをカットしてもOK。
- リアサスペンションの変更、交換を認めます。
※但し、数量、取付位置の変更・改造は認められません。

ブレーキ

- フロントとリアには十分に効果的なブレーキが装備されていなければなりません。
- フロントとリアのブレーキキャリア(マウント、キャリア、ハンガー)およびマスターシリンダーは変更できません。ただしブレーキパッドとホース、ブレーキフルドは変更してもOKです。マスターシリンダーにはボルトオンプロテクタを取り付け可とします。
- リアのリザーバタンクは位置を変更することができます。
- ホース、バンジョーボルト、パッド、シュー、ワイヤー、フルド、レバーの交換ができます。また、リヤブレーキタンクレスキットへの変更を認めます。
- パットスプリングの取外し、キャリアガードの取付け可。

ステップ・ペダル類

- ステップやシフトペダル、ブレーキペダル、取り付け用ベースは、交換や位置変更が可能です。
- ステップバーの先端は半径8mm以上の球状でなくてはなりません。固定式のステップバーの場合は、バーエンドキャップの取り付けを推奨します。(ジュラコン製が望ましい)

リアスイングアーム周り

- スプロケットとチェーン(サイズ)は変更ができます。
- チェーン駆動車はスイングアーム下側にドリブン(リア)スプロケットガードを必ず装着してください。
- ドライブ(フロント)スプロケットにはカバーがなくてははいけません。
- チェーンカバーの取外しは禁止します。リアフェンダーがその機能を兼ねる場合には無くてもOK。材質・形状の変更は可能。
- リアホイールスタンドのためのブラケットをスイングアームに取り付けることができます。

タイヤ・ホイール

- ホイール径は12インチ以上とします。
- タイヤの変更は一般公道用に市販されていて通常ルートで購入できる物に限ります(ミニモト専用タイヤ含む)。ただし主催者指定のサイズ以外のものは使えません。スリックやインターミディエイトの使用、再グルーピングなどタイヤの追加工、を禁止します。レインタイヤの使用は可とします。
- タイヤウォーマーの使用は禁止です。車体からタイヤ・ホイール等を外し、車中やストーブなどで温める等、安全上危険と判断される行為も禁止します。
- ホイールの変更・改造はできません(塗装はOKです)。
- ホイールカラーの変更及びダストシール・メーターギアの取外しが可能です。

保安部品

- ライト、ウィンカー、テールランプ、リフレクター、バックミラー、ホーン、ツールボックス、ナンバープレート、ナンバープレートブラケット、サイドスタンド、タンデムステップ、グラブレール等の保安部品は取り外してください。

カウル

- カウルは市販のものに変更できます。ただしHRC公認のものに限ります。タンクカバーとシュラウド、フロントフェンダー、リアフェンダーについては変更できません。
- 安全上問題のないカウル類の取り外しが可能です。
- アンダーカウルはエンジン破損時にエンジンオイルを全容量受けられる構造でなくてはなりません。アンダーカウル下端には直径20mmの水抜き穴が1～2個空いていること。この穴はドライ時にはグロメットで閉じられていなければなりません。

ゼッケン

- 車両のフロントとシートカウル両サイドの見やすい場所に、ゼッケンナンバーを表示してください。
- ゼッケンの書体はゴシック体、大きさは高さ12cm、幅6cm以上でなければなりません。
- ゼッケンの下地は艶消しの黒色、数字は艶消しの白色とします。

その他

- 各部品は、溶接またはボルト・ナット等で確実に正しく取り付けてください。
- 著しく尖った部分や鋭利な部分があってははいけません。
- オイルフィルターキャップとオイルドレンボルトは走行中に緩まないようにワイヤーロックをしてください。
- パイプ、ホース類はクリップ止め等の簡易なものは、確実に外れない方式に変更してください。また、使用するホースは耐熱・耐油性を満した物でなくてははいけません。
- メーカー純正部品の廃番に伴い、同メーカー及び同排気量他車種の純正部品を無加工で装着出来るパーツの流用ができます。ただし事前に使用部品を主催者に申請すること。
- その他、車検長が、危険または著しく不公正と判断した車両は、出走停止・不合格・改善指示の判断をします。その決定に対して、異議を申し立てすることは認められません。
- チタン合金部品の使用は禁止します。
- ポジション調整のパッド類が取り付けられます。
- シートの変更はできません。ただしスポンジや表皮の改造は認められます。
- 不要な計器類の取り外しが認められます。
- 自動ラップ計測機器、独立して機能するデータ収集機器(GPS型データロガーなど)、車載カメラ(主催者への申請が必要で)が搭載できます。
- KSR110はマニュアルクラッチへの変更可。
- KSR110に限り純正と同サイズの前後ホイールの変更を認める。
- エンジン冷却のためのダクトや整流板、ラジエーターカバーの追加変更、リアサス保護の遮熱版の装着可。APE100へのXR100Mの純正部品流用の場合は、鈴鹿ミニモト規則に準じます。

※当規定は戦力バランス等を考慮し予告なく変更される場合があります。

HRC GROM CUP

ホンダGROM(2016年以降の主催者が認める車輛)の市販車、及びHRCレースベース車が対象。
車両規定はHRCの定めるHRCグロムカップ規則に準じます。詳しくはHRCホームページを参照。
<http://www.honda.co.jp/HRC/event/nsf100hrctrophy/>
<http://www.honda.co.jp/HRC/event/hrcgromcup/>

ミニバイク ノーマルクラス